

オルガノ株式会社

2015年3月期決算説明会

(2015年5月15日 16:00～)

2015年3月期 決算報告 及び 2016年3月期 計画

代表取締役社長
内田 裕行

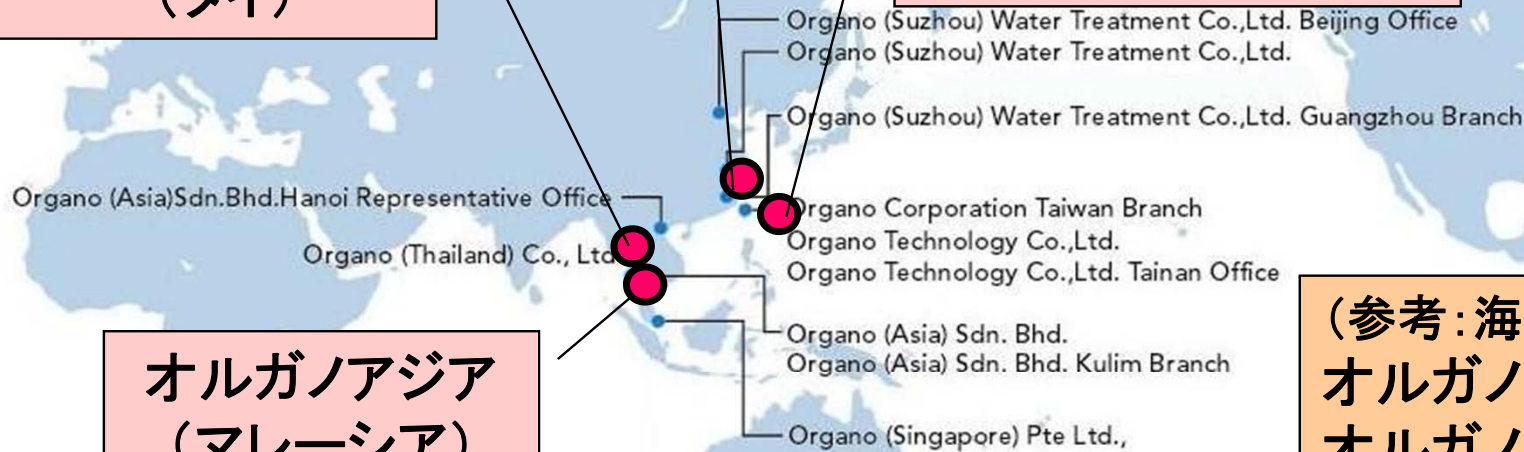
連結対象グループ会社

＜国内連結会社＞
 オルガノプラントサービス
 オルガノフードテック
 オルガノアクティ
 オルガノエコテクノ

オルガノ蘇州
 (中国)

オルガノタイランド
 (タイ)

オルガノ・テクノロジー
 (台湾)



オルガノアジア
 (マレーシア)

(参考:海外非連結会社)
 オルガノシンガポール
 オルガノベトナム
 ラウタン・オルガノ・ウォーター
 (インドネシア) ※1

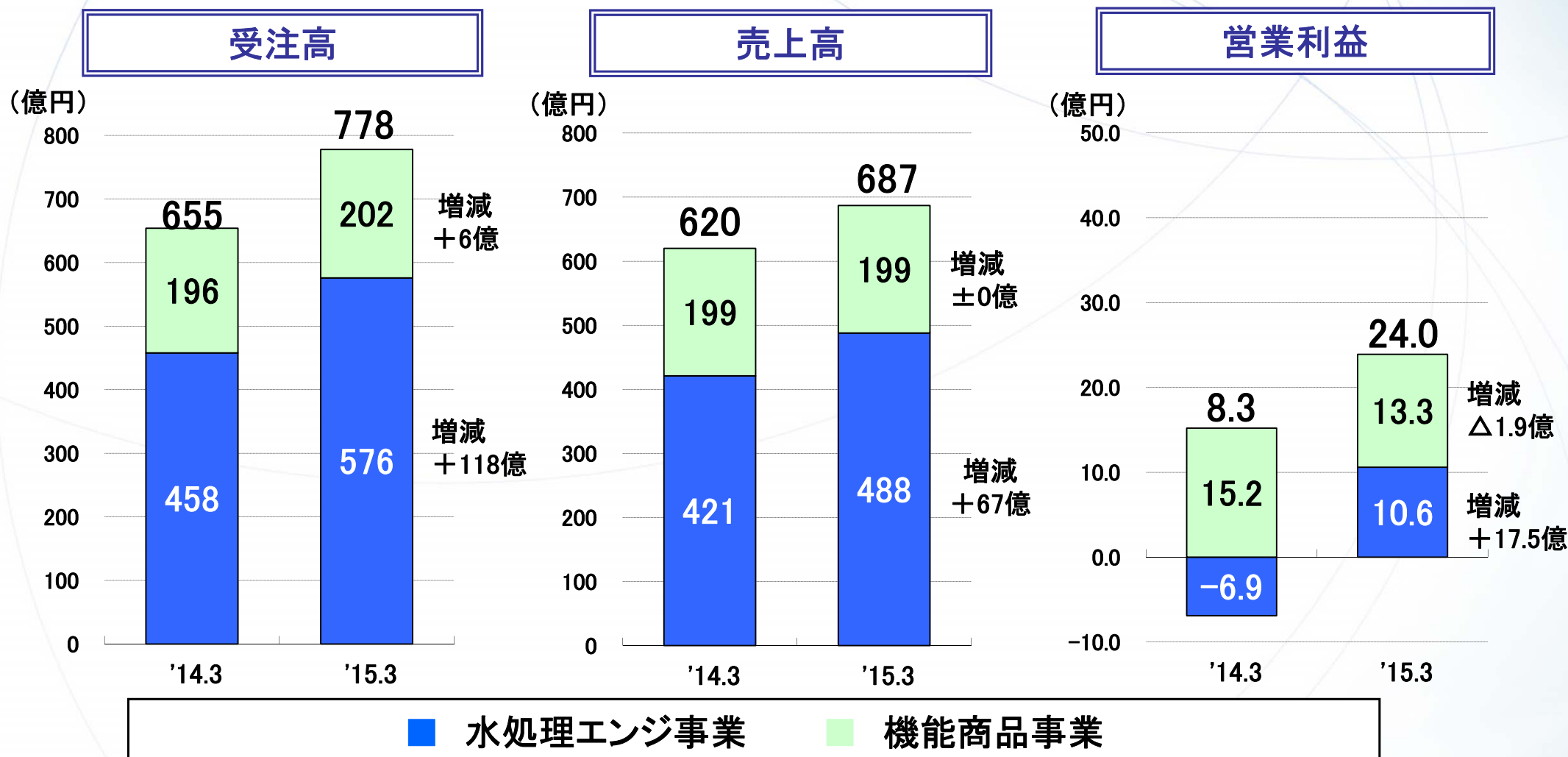
※1・・・2015年度から連結対象子会社

2015年3月期実績

(単位:億円)

	14.3 実績	15.3 計画	15.3 修正予想	15.3 実績	前期差	計画差
受注高	655	750	760	778	+ 123	+ 28
売上高	620	700	680	687	+ 67	△ 13
売上総利益 (%)	145 (23.4%)	154 (22.0%)	154 (22.6%)	155 (22.6%)	+ 10 △0.8pt	+ 1 +0.6pt
販管費	137	139	131	131	△ 6	△ 8
営業利益 (%)	8 (1.3%)	15 (2.1%)	23 (3.4%)	24 (3.5%)	+ 16 +2.2pt	+ 9 +1.4pt
経常利益	11	14	24	24	+ 13	+ 10
当期純利益	6	9	12	10	+ 4	+ 1

2015年3月期実績(セグメント別)

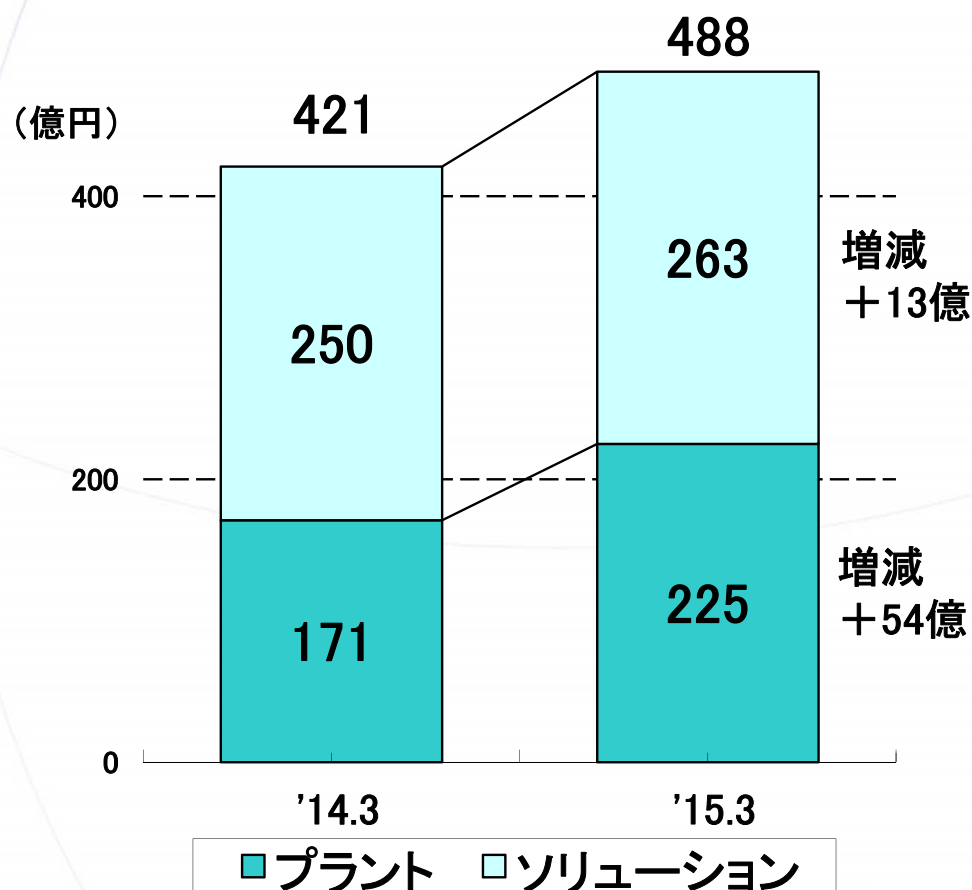


【水処理エンジ事業】：受注高については、国内外電子産業向けや国内一般産業向けプラントで増加した。
売上高については、国内電子産業や医薬向けプラント／メンテナンス、排水プラントの伸長などにより増加した。営業利益については、売上拡大や販管費減少により増加した。

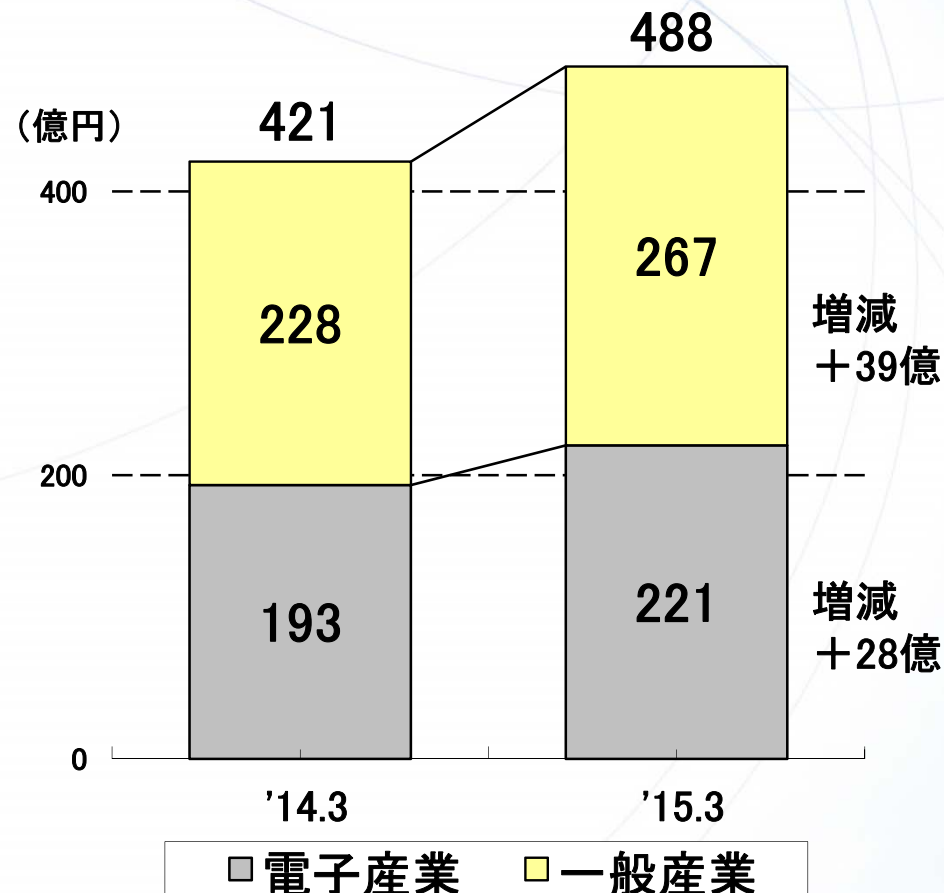
【機能商品事業】：受注高、売上高共にほぼ前期並み、営業利益については採算性の低下により減少した。

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

部門別売上高



顧客別売上高



【プラント】：国内電子産業向けプラントや医薬向けプラント、排水プラントの伸長などにより増加した。

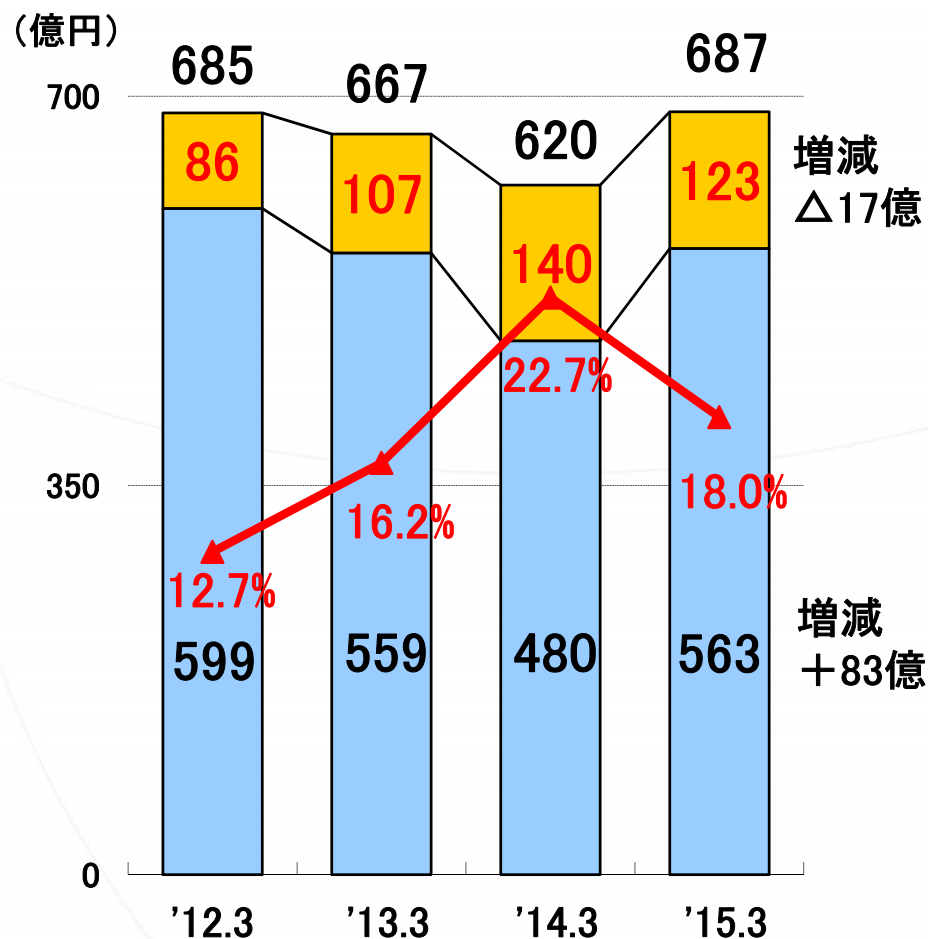
【ソリューション】：国内電子産業向けや医薬向け、海外産業全般のメンテナンスの伸長などにより増加した。

【電子産業】：国内プラント／メンテナンスの伸長により増加した。

【一般産業】：国内医薬向けプラント／メンテナンス、排水プラントの伸長などにより増加した。

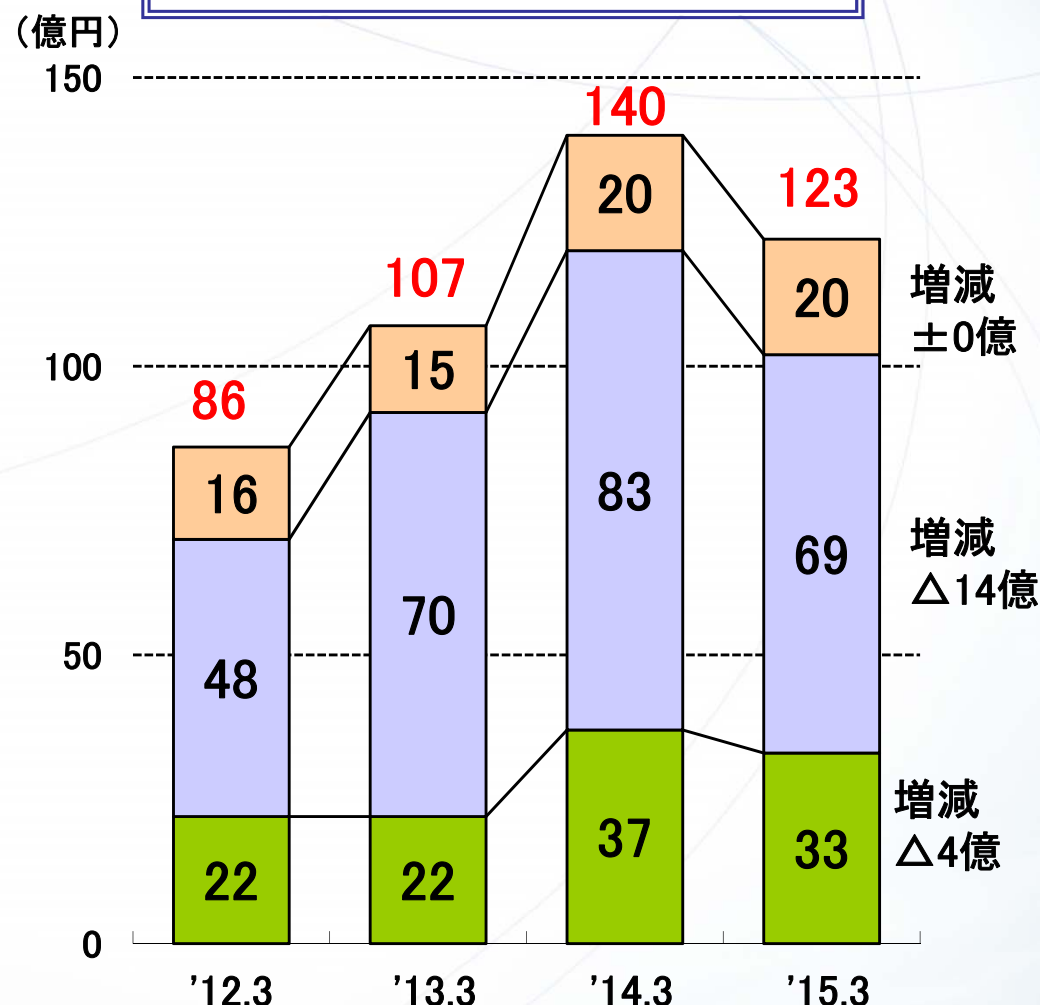
地域別売上高

国内・海外別売上高



■ 国内 ■ 海外 ▲ 海外比率

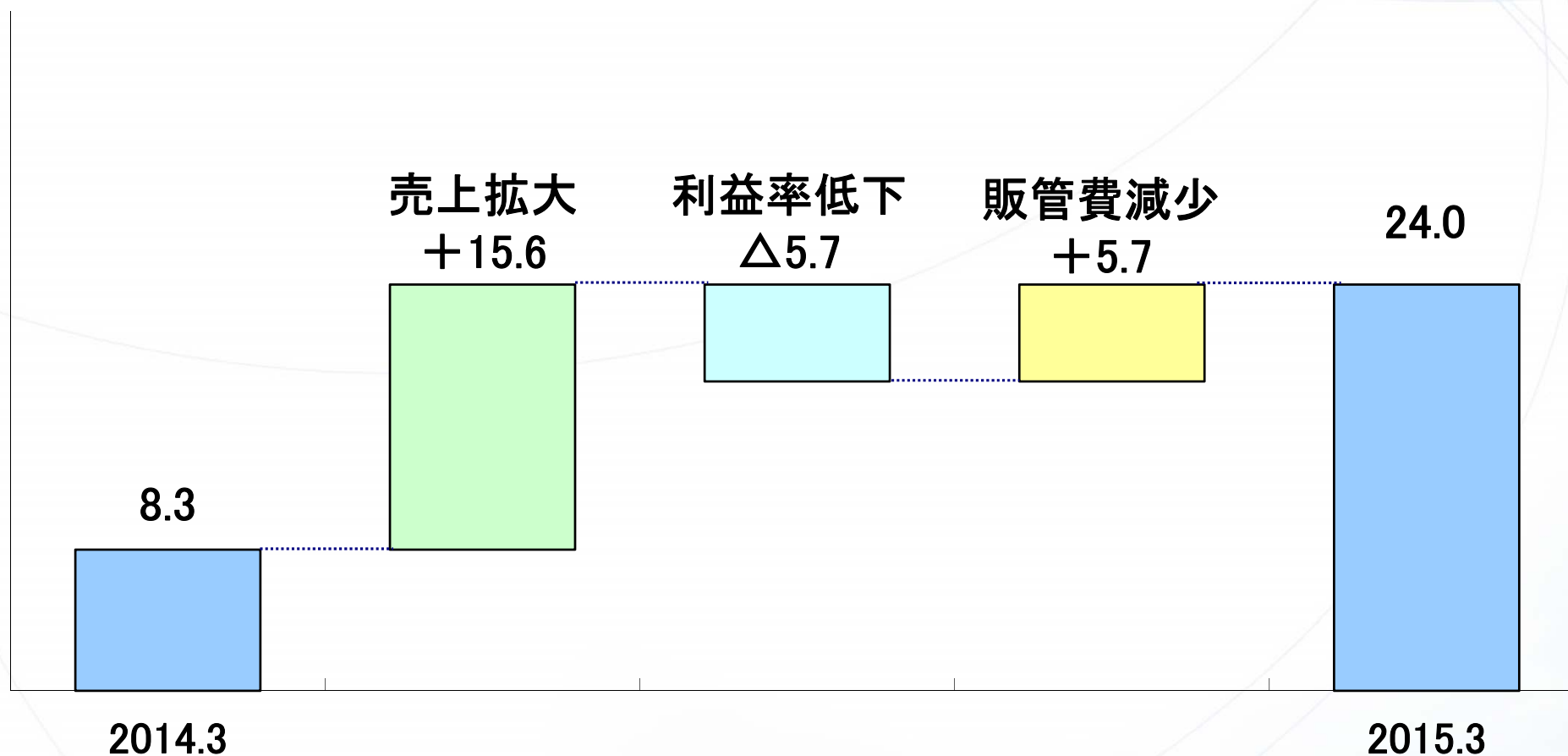
海外地域別売上高



■ 東南アジア ■ 台湾 ■ 中国

2015年3月期営業利益分析(要因別)

(単位:億円)



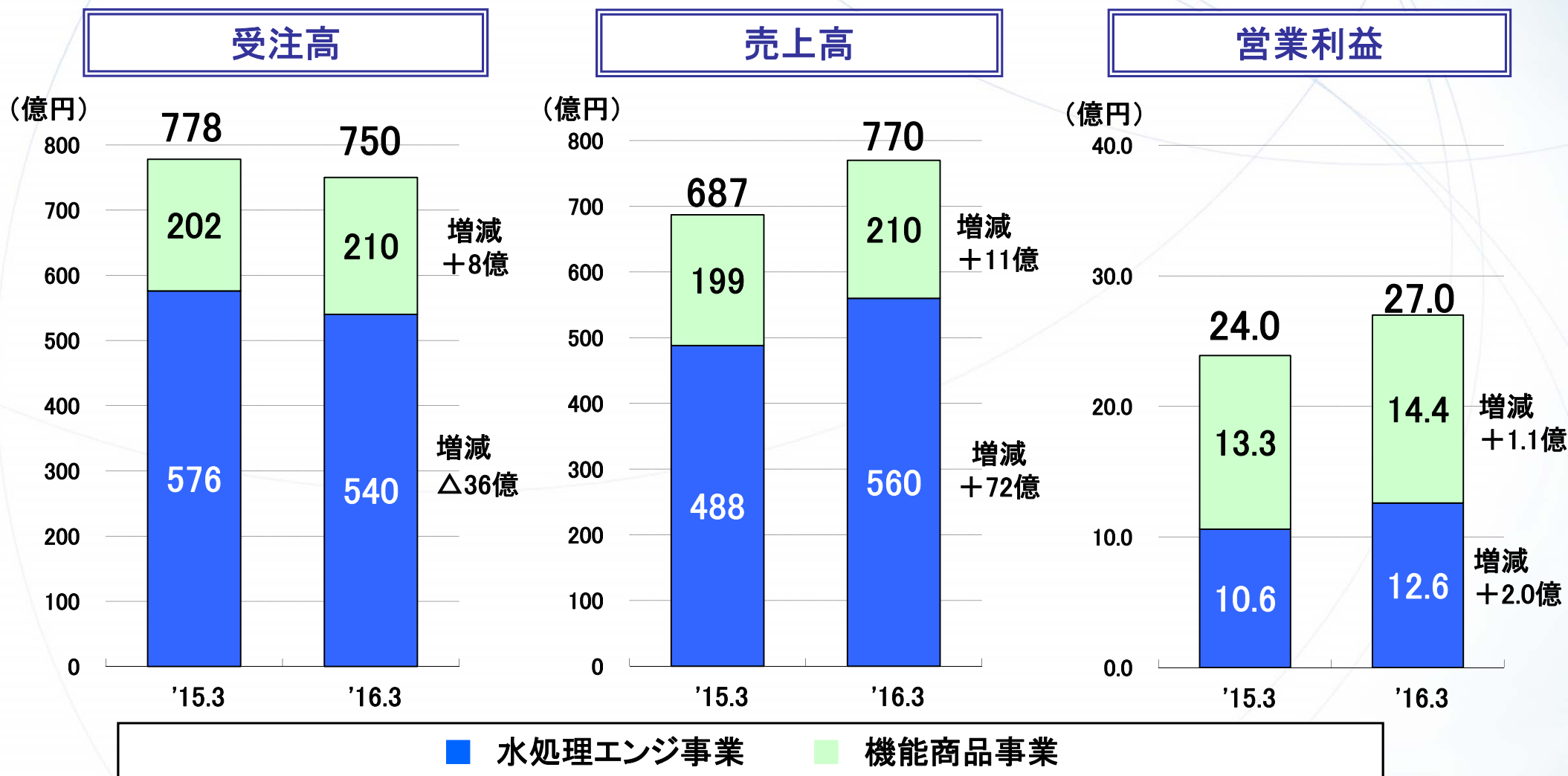
※売上減少と利益率低下は、売上総利益率を用いて算出しています。

2016年3月期計画

(単位:億円)

	15.3 (実績) 通期	16.3 (計画) 通期	通期 比較
受注高	778	750	△ 28
売上高	687	770	+ 83
売上総利益 (%)	155 (22.6%)	167 (21.7%)	+ 12 △0.9pt
販管費	131	140	+ 9
営業利益 (%)	24 (3.5%)	27 (3.5%)	+ 3 +0.0pt
経常利益	24	26	+ 2
当期純利益	10	16	+ 6

2016年3月期計画(セグメント別)

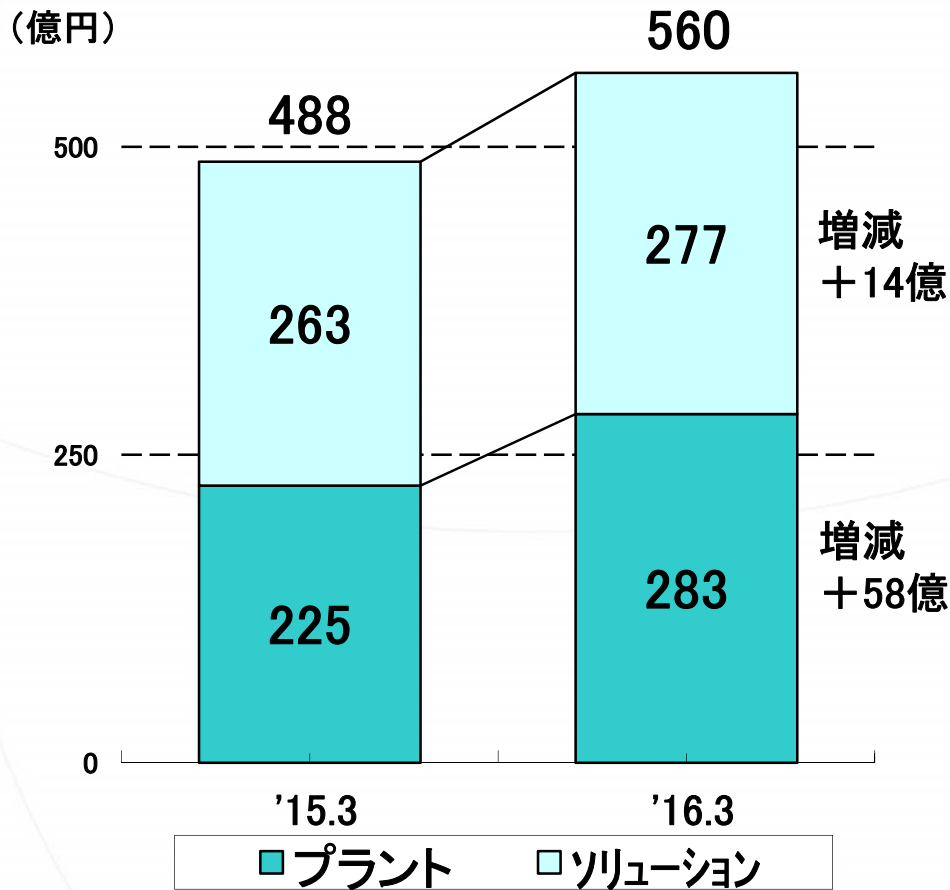


【水処理エンジニアリング事業】：受注高については、2014年度に大きく増加した国内電子産業向けプラントで減少を見込む。売上高については、国内外電子産業向けプラント／メンテナンスや国内上下水道プラントの伸長により増加を見込む。営業利益については、売上拡大により増加を見込む。

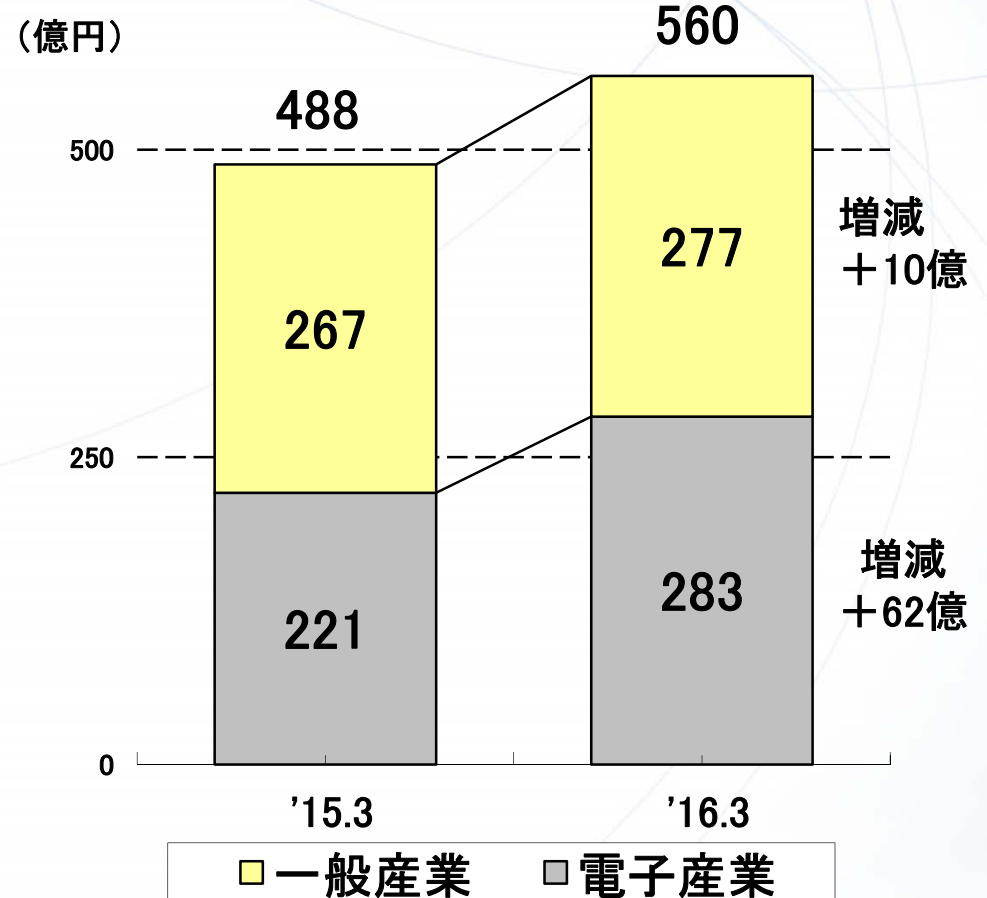
【機能商品事業】：顧客工場の操業度回復、新商品の開発やリニューアルなどにより増加を見込む。

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

部門別売上高



顧客別売上高



【プラント】:国内外電子産業向けプラントや国内上下水道プラントの伸長などにより増加を見込む。

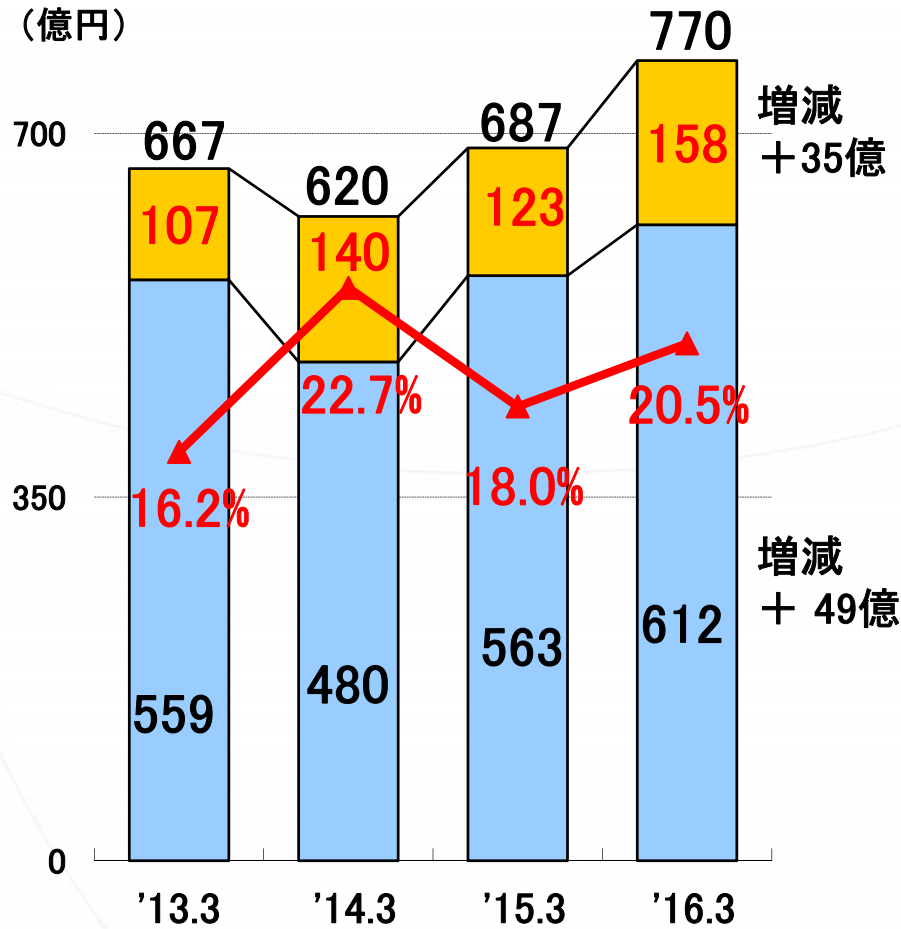
【ソリューション】:主に国内外電子産業向けメンテナンスの伸長により増加を見込む。

【電子産業】:国内外プラント／メンテナンスの伸長により増加を見込む。

【一般産業】:主に国内上下水道プラントで増加を見込む。

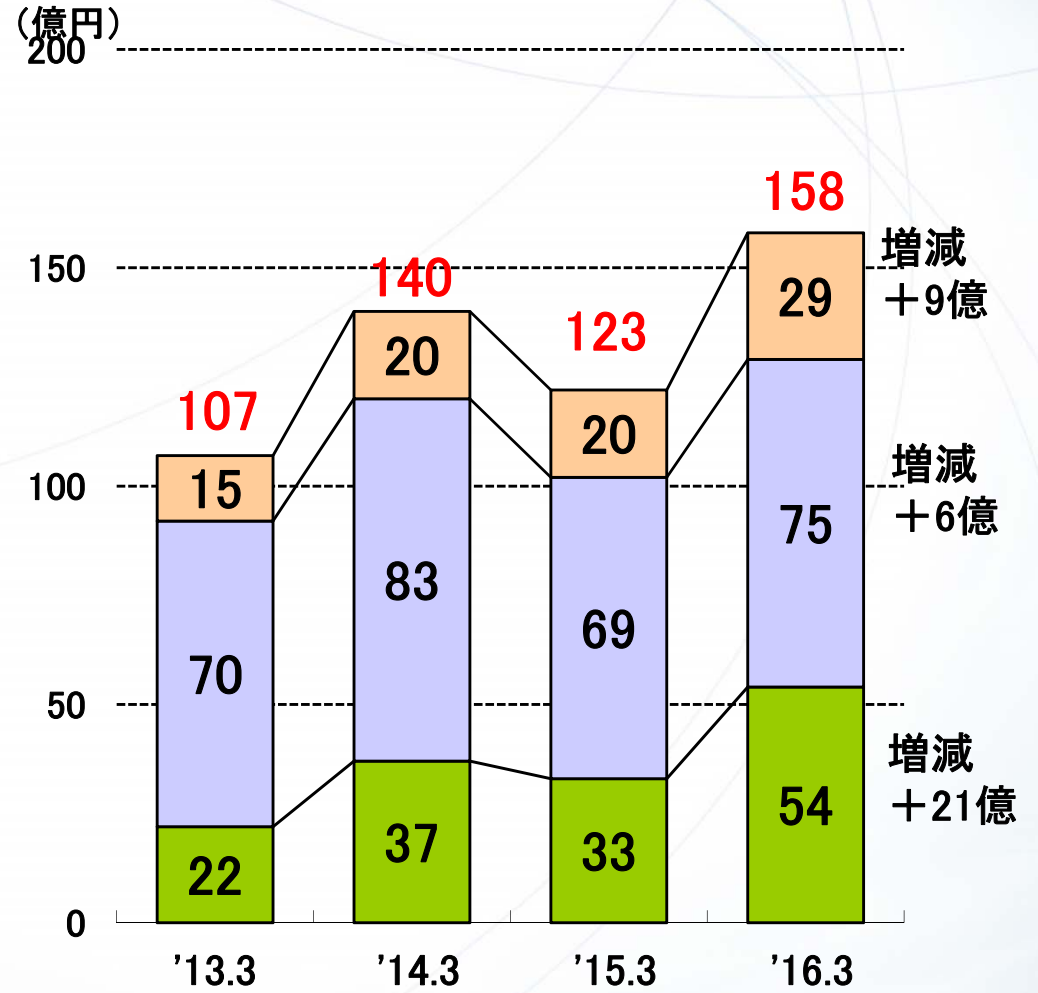
地域別売上高

国内・海外別売上高



■ 国内 ■ 海外 ▲ 海外比率

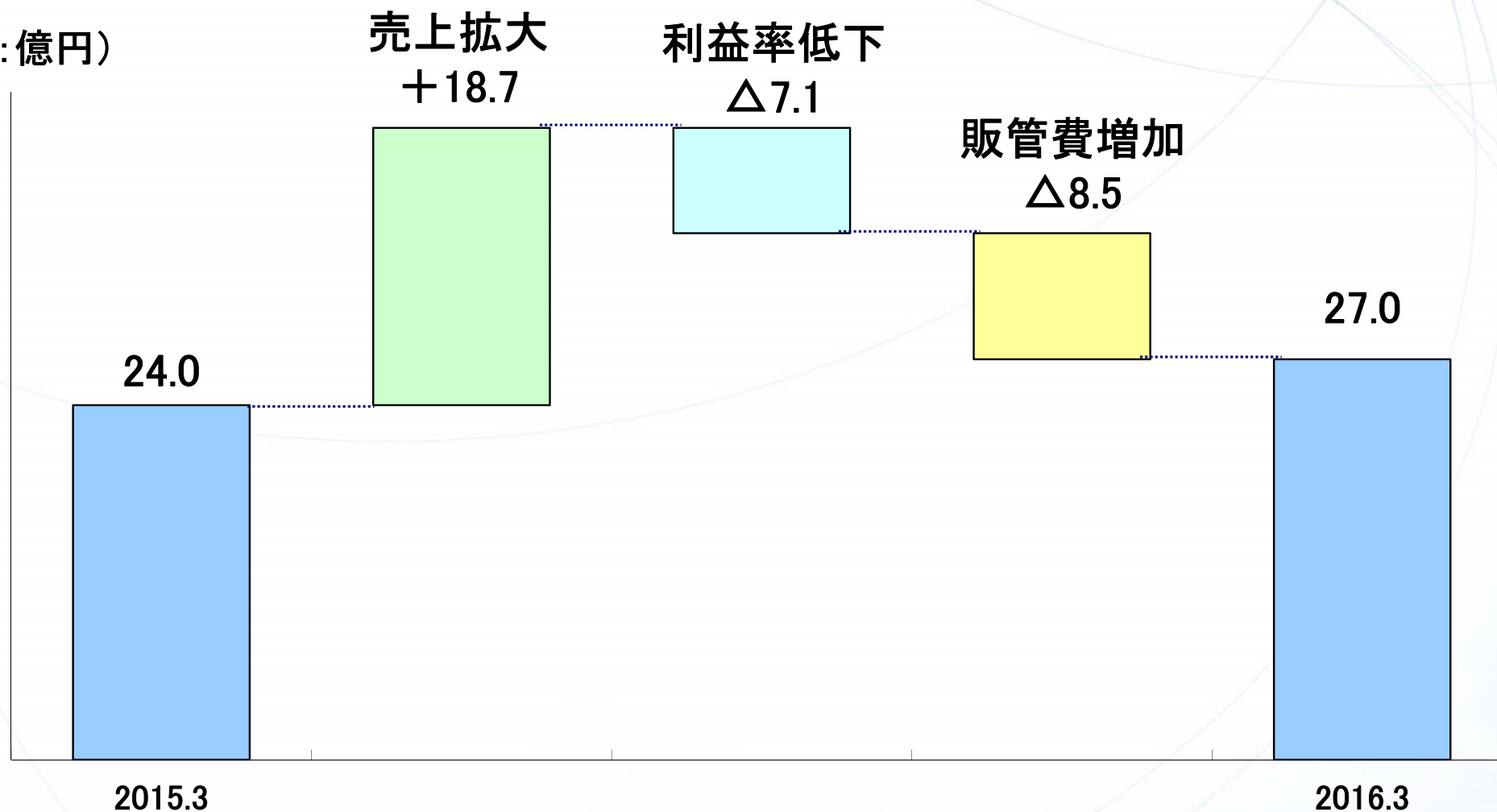
海外地域別売上高



■ 東南アジア ■ 台湾 ■ 中国

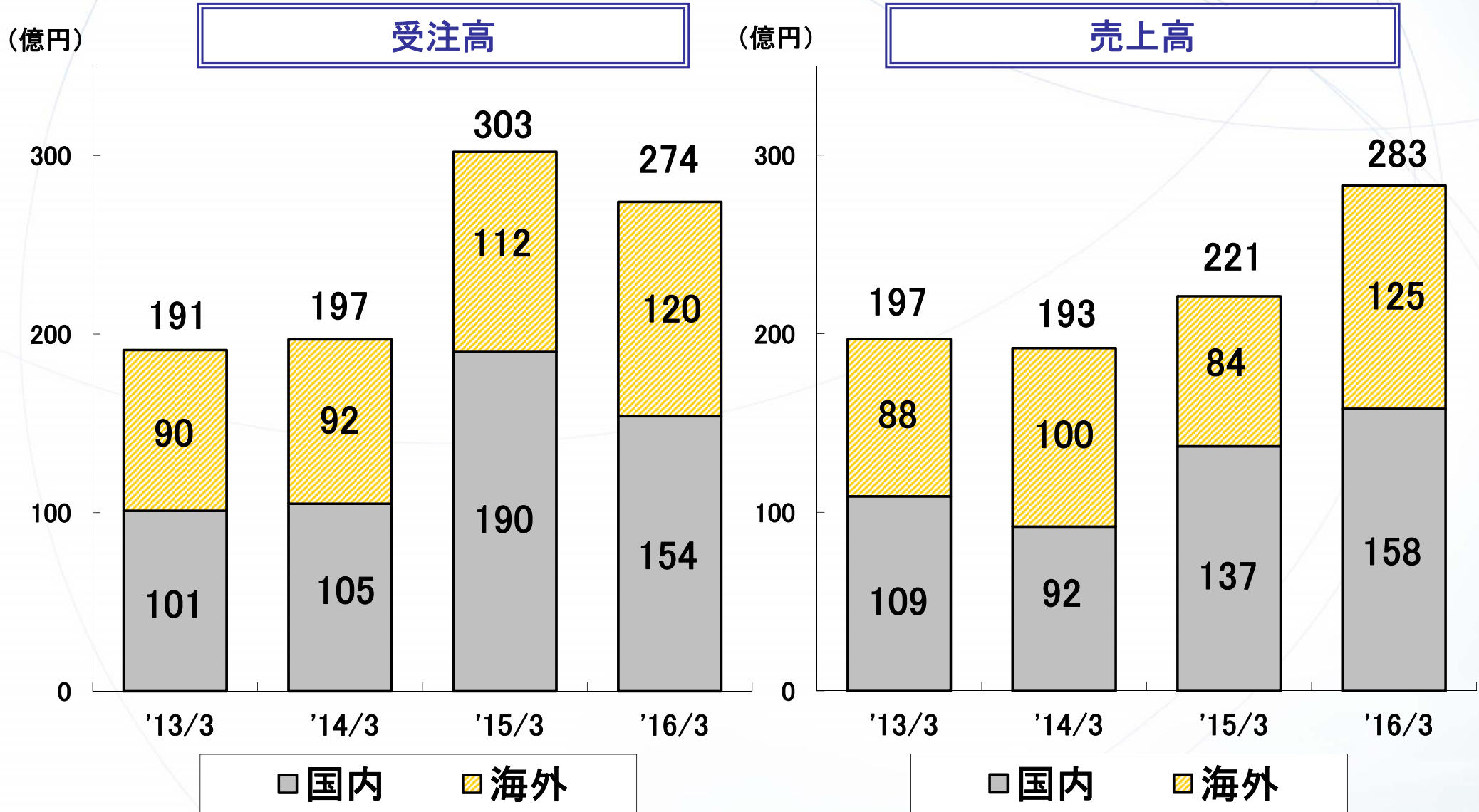
2016年3月期営業利益分析(要因別)

(単位:億円)



※売上増加と利益率低下は、売上総利益率を用いて算出しています。

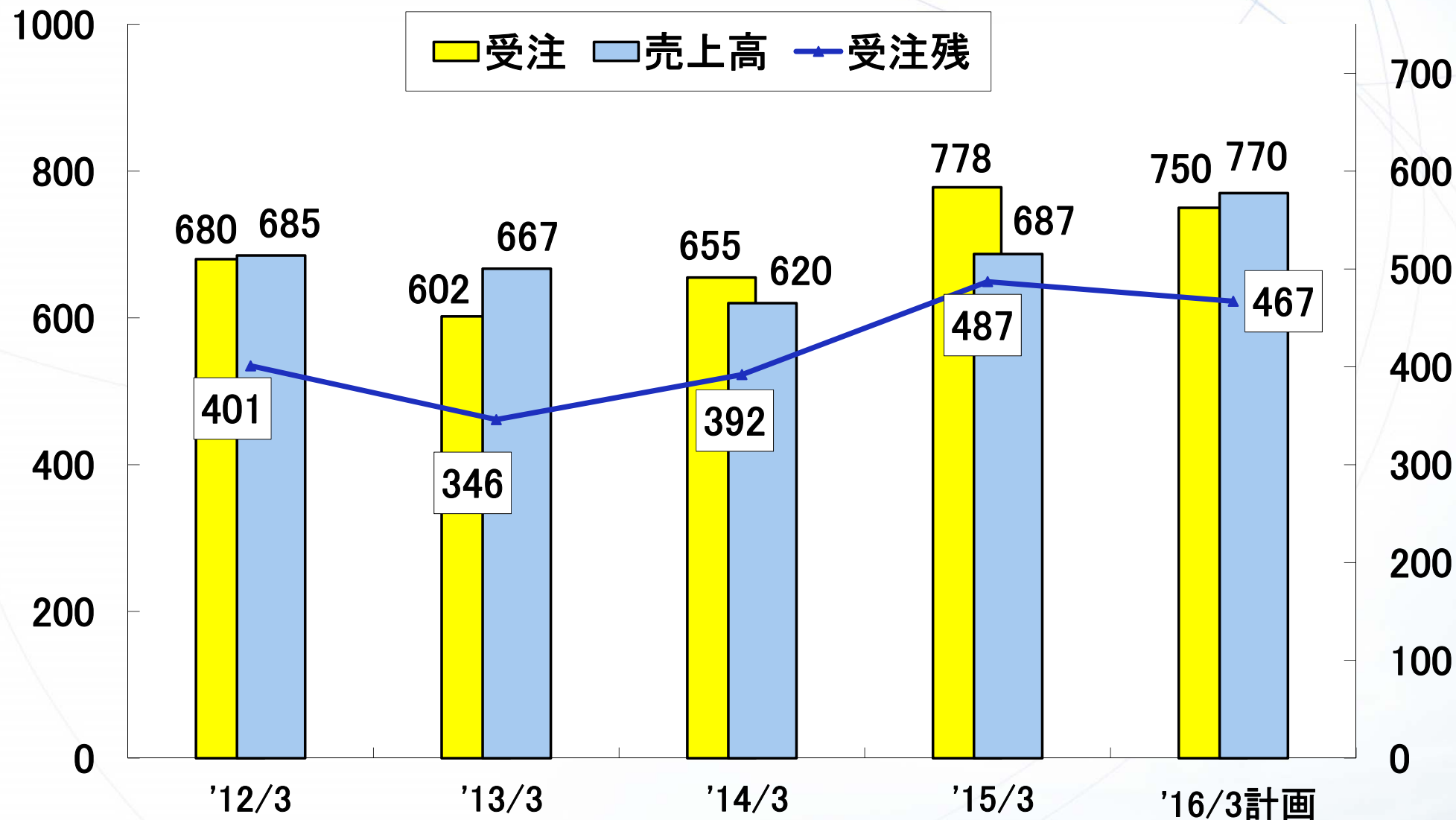
電子産業向 受注高／売上高推移



受注高・売上高・受注残高推移

受注／売上(億円)

受注残(億円)



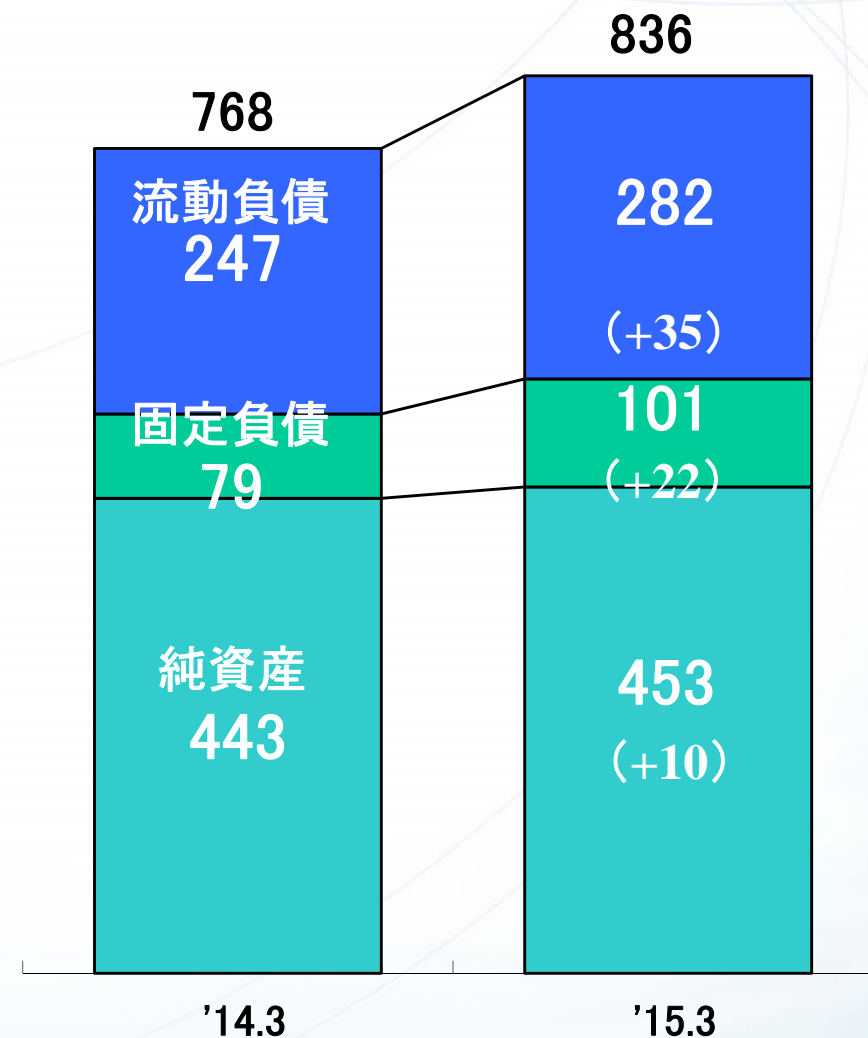
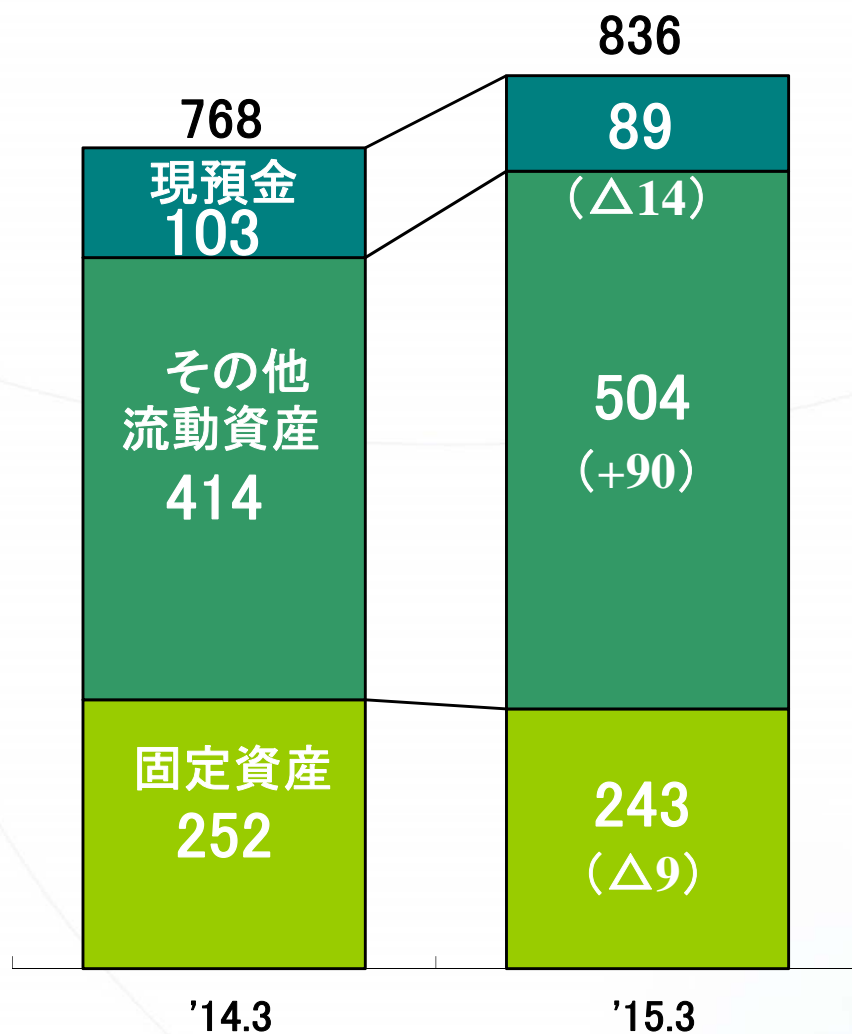
貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

(単位:億円)

(単位:億円)



主な指標

(単位:億円)

	2015年3月期	2016年3月期(計画)
設備投資額	3	11
技術研究費	13	14
減価償却費	9	10
有利子負債	127	130
従業員数(人)	1,944人	2,050人
年間配当金(円)	8円	8円
ROE(%)	2.4%	3.6%

オルガノグループ中期経営計画 について

前中期経営計画(2013年度～)業況

各種産業における国内生産拠点の統廃合や海外移転など

⇒市場環境が計画策定時の想定から大きく変化

グループ再編(2014年4月1日)

<目的:経営資源の集中と効率化、市場での競争力強化>

○地域統括販売会社7社の吸収合併

○排水処理生産技術集約によるオルガノエコテクノの強化・拡大 など

組織体制の変化も踏まえ、中期経営計画で掲げた年次目標
数値は見直しを行うこととし、グループ再編効果の早期実現を
図り、2015年度以降の新たな目標数値を再設定

新中期経営計画 (2015～2017年度)の概要

新中期経営計画 企業コンセプト・企業理念・経営ビジョン

企業コンセプト

“*Ecologically Clean*”

【企業理念】

かけがえのない地球の未来を見つめ、
心と技で水の価値を創造する

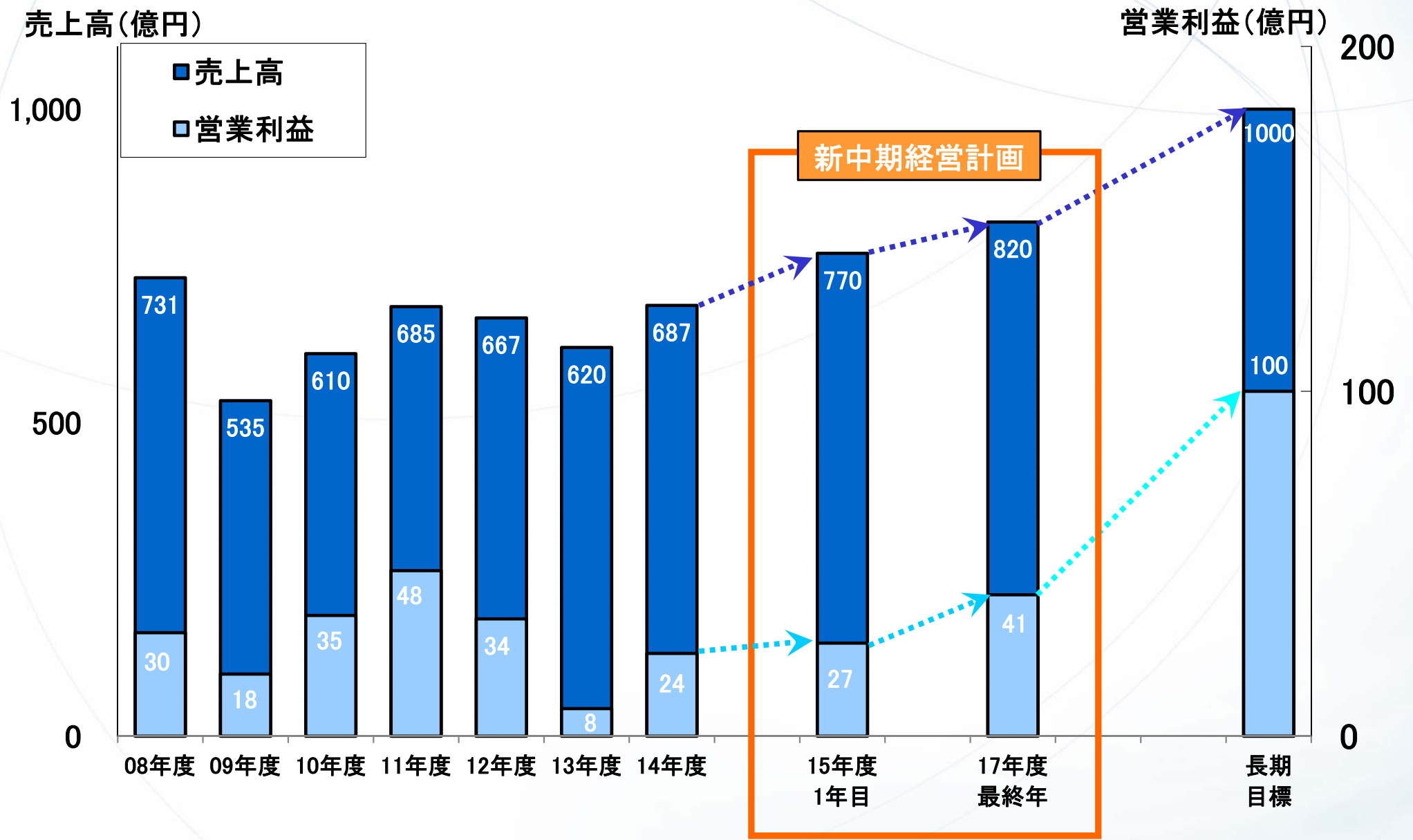
【中期経営ビジョン】

“*Process '17*”

*(Portfolio Reconstruction in Organo-group to
Create Ecologically Clean and Sustainable
Success for 2017)*

これまで進めてきた「ワンストップソリューション(*One Stop Solutions*)」をベースとして、選択と集中により、排水、薬品、海外の3事業に注力し、事業ポートフォリオの転換を加速、ソリューションビジネスの拡大を図り、安定した収益基盤を構築する。

新中期経営計画 連結売上高・営業利益計画



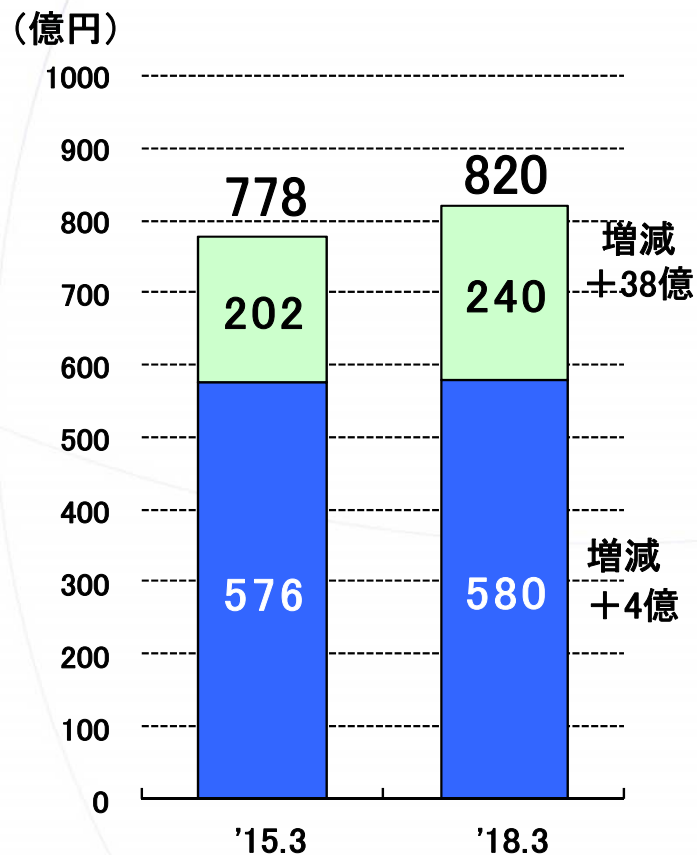
2018年3月期計画

(単位:億円)

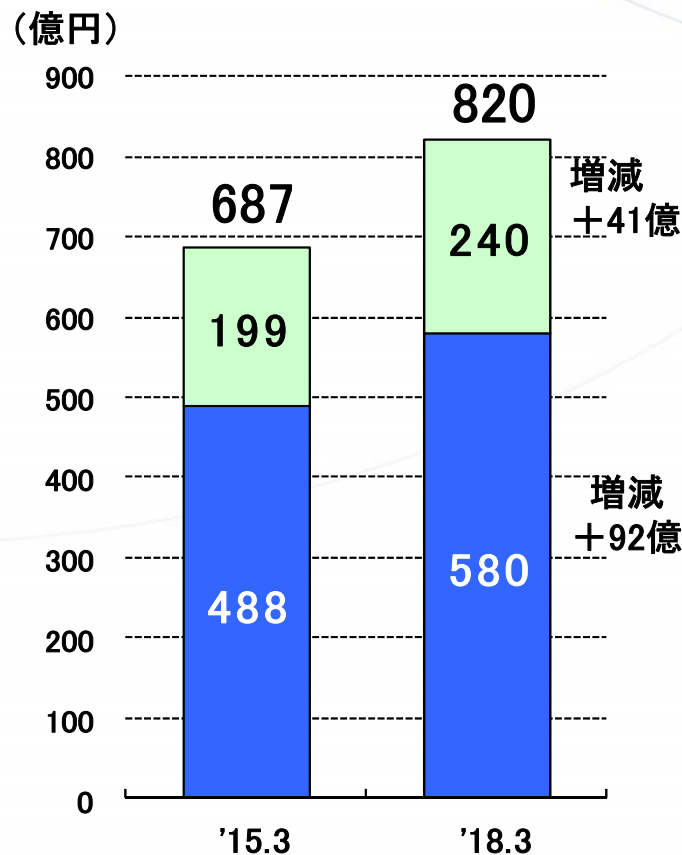
	15.3(実績) 通期	18.3(計画) 通期	通期 比較	3年間 平均成長率
受注高	778	820	+ 42	
売上高	687	820	+ 133	6.1%
売上総利益 (%)	155 (22.6%)	191 (23.3%)	+ 36 +0.7pt	
販管費	131	150	+ 19	
営業利益 (%)	24 (3.5%)	41 (5.0%)	+ 17 +1.5pt	19.5%
経常利益	24	40	+ 16	
当期純利益	10	26	+ 16	

2018年3月期計画(セグメント別)

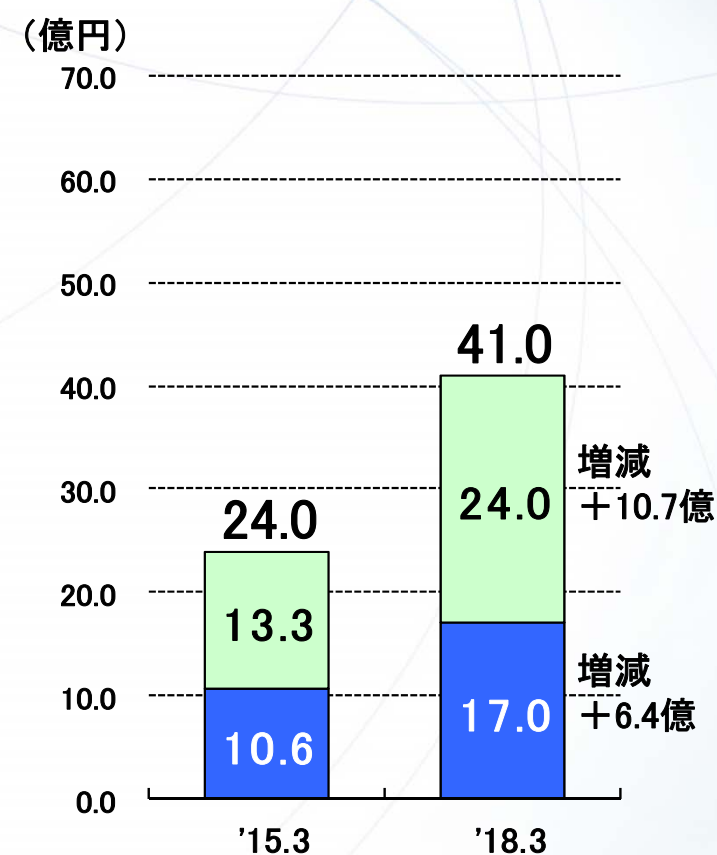
受注高



売上高



営業利益



■ 水処理エンジニア事業 ■ 機能商品事業

中期経営計画 重点施策

市場性

将来性

収益性

【注力する分野】

排水事業

薬品事業

海外事業

事業ポートフォリオ転換加速
安定的な収益確保

中期経営計画 重点施策(排水事業)

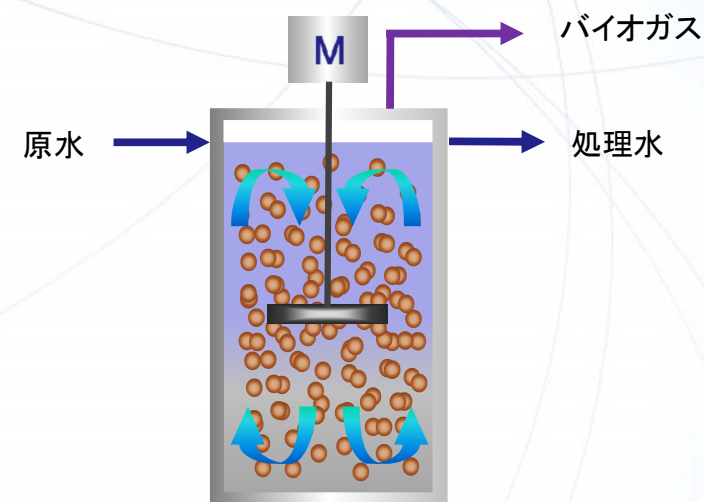
【排水事業】

- 要員増強・体制強化等による拡大
- 国内での食品・飲料、ファーマ分野等への注力及び売上拡大
- 担体嫌気処理・油脂分解処理等の独自技術による差別化推進
- タスクチーム設立による海外での事業拡大

中期経営計画 重点施策(排水事業)

◆流動担体型高速嫌気処理装置

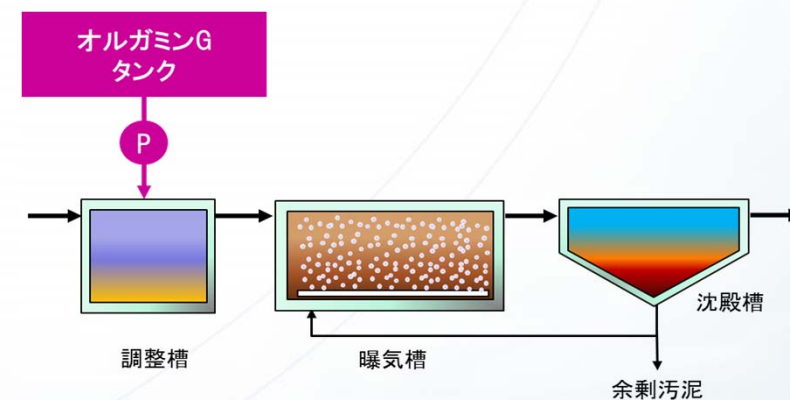
- 従来の嫌気処理装置に比べ3倍以上の高速処理が可能
- 流動担体が微生物を安定保持し、系外への微生物流出が少ない
- 低濃度排水や油分含有排水への適用が可能
- 得られたメタンガスをガス発電機等のエネルギー源として利用可能



反応槽イメージ

◆油脂分解促進剤 オルガミンG

- 微生物の油脂分解活性を向上させる特殊栄養剤
- 食品工場等の処理水中の油分濃度低下に加え、スカム(水面に浮遊する層状の油膜・油脂)等の発生を抑制
- 前段の加圧浮上処理の省略が可能



オルガミンGの適用例

中期経営計画 重点施策(薬品事業)

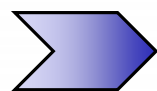
【薬品事業】

- 要員増強・体制強化等による拡大
- 非塩素系酸化剤含有薬品の国内外でのビジネス拡大
- 冷却水処理剤の国内販売体制強化、海外供給体制の整備及び本格参入
- M&A、業務提携などの推進

中期経営計画 重点施策(薬品事業)

◆非塩素系酸化剤含有スライムコントロール剤

- 独自開発した酸化剤含有
- 高い安全性:新規に化審法登録
- 優れた殺菌・殺藻能力
- 金属腐食性・RO膜劣化障害 低
- 高い安定性:タンクや水中での活性保持
- 低環境負荷:処理水中TOC・COD低減、補給水節約、薬剤添加量抑制



冷却水処理剤「オルブレイドJシリーズ」
RO膜用処理剤「オルパージョンEシリーズ」

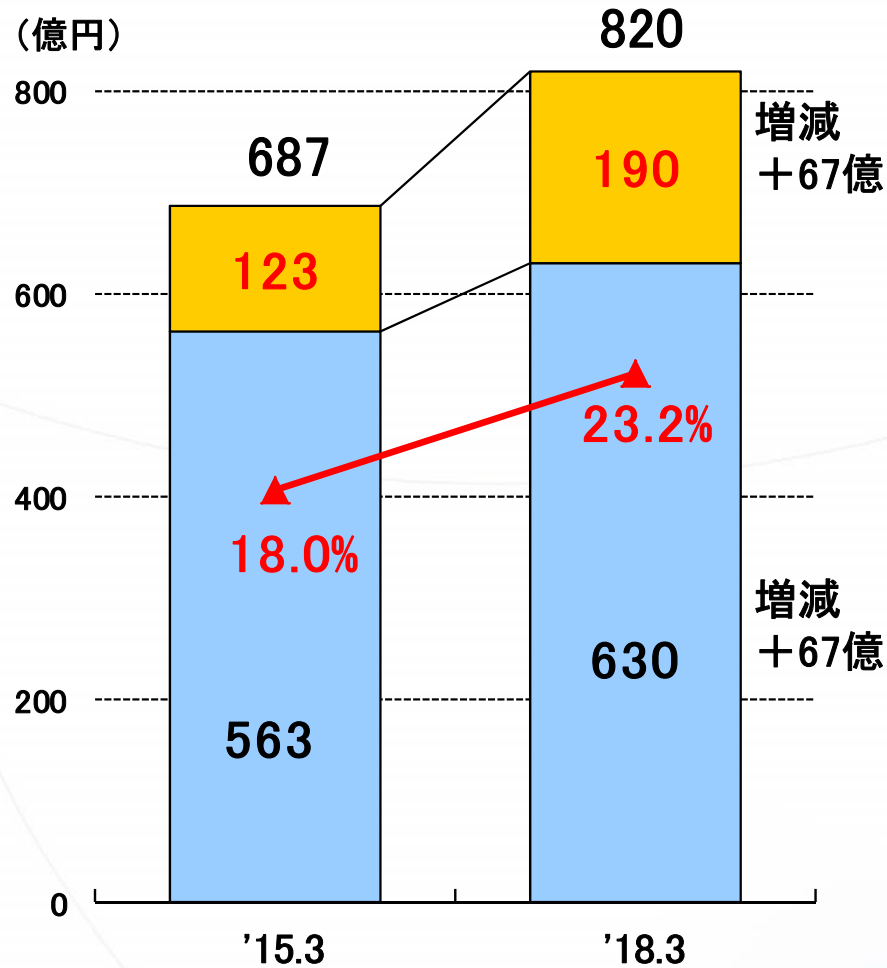
中期経営計画 重点施策(海外事業)

【海外事業】

- 国内部門と連携した海外現法各社の強化
- 非日系顧客拡大に向けたローカルマネジャーの育成、パートナー企業とのアライアンス
- ローカル社員を中核とした体制へのシフト
- 新拠点設置の継続的検討

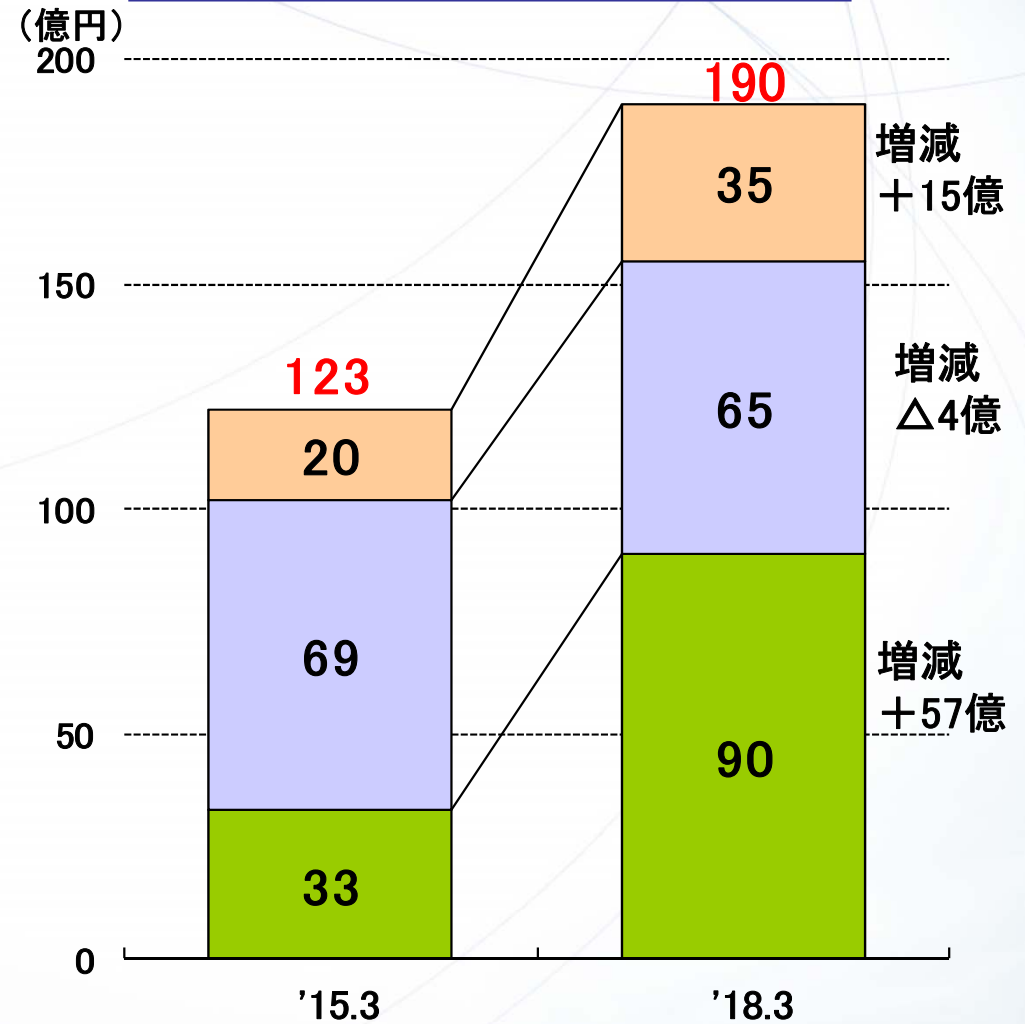
中期経営計画 重点施策(海外事業)

国内・海外別売上高



■ 国内 ■ 海外 ▲ 海外比率

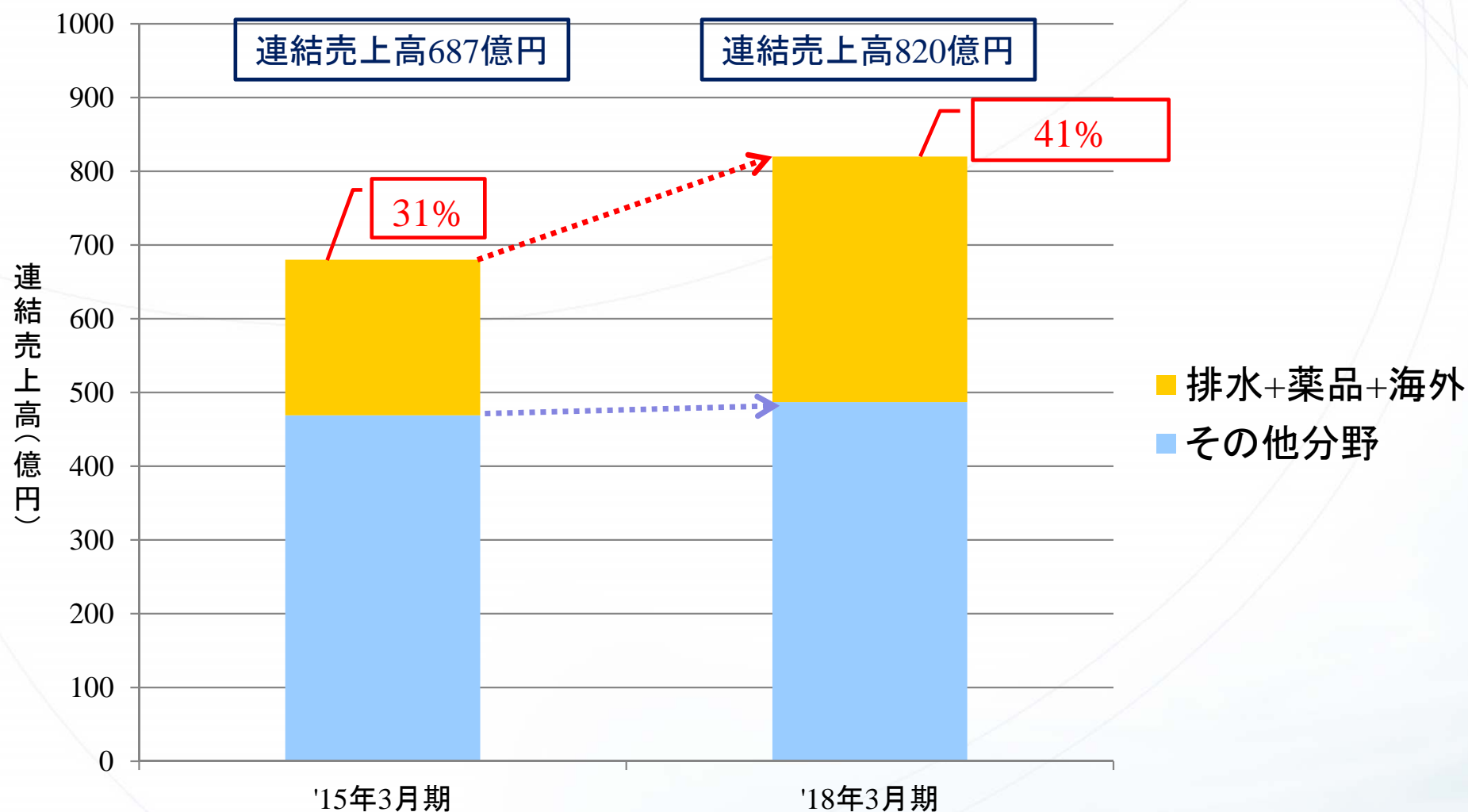
海外地域別売上高



■ 東南アジア ■ 台湾 ■ 中国

中期経営計画 重点施策

'18年3月期売上高構成 目標



【参考】新商品・新技術

◆クロマト分離技術を利用した 米ぬかからの高純度セラミド連続精製技術を開発

「新JO方式クロマト分離装置」

- 3成分以上の分離・精製が可能なオルガノ独自のクロマト分離技術
- 糖類などの生産プロセス向けに実績多数

適用



高純度セラミド連続製造技術を開発

((独)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)、日本製粉(株)との共同開発)

従来の天然セラミド

- 10%程度の低純度品
- 不純物由来の色、臭い:用途が限定



- 95%以上の高純度品の連続生産可能
- 化粧品や医薬品、研究用途として新たな活用法が期待

【参考】新商品・新技術

◆透析用水処理装置「HDシリーズ」販売開始

- 市場でのニーズが高いコンパクト化を追求
⇒ 業界最小クラスの小型化を実現
- 充実したオプション機能
⇒ 加温、UF膜モジュール等
(オプション品もワンパッケージに
設置可能なオールインワンタイプ)
- 高品質・高安全性
⇒ ISO認証の自社工場での製造・品質管理



透析用水処理装置市場へ参入

【参考】新たな取り組み

◆ 土壌・地下水調査、浄化事業の強化

- 事業をオルガノに集約(2014年10月～)
プラント事業部基幹産業ビジネスユニットに土壌・地下水グループを設置、各支店に担当者を配置
⇒ オルガノグループのネットワークを活用した営業力強化

ねらい

市場拡大の見通し

- ◆ 東京環状線整備工事
- ◆ 2020年東京オリンピック開催
- ◆ リニアモーターカー計画



増加が予想される案件に適切に対応するべく営業・技術体制を強化

水処理に係る顧客の幅広いニーズに応える「ワンストップソリューション」を強化・推進

【参考】新たな取り組み

◆ 食品安全システムFSSC22000の認証取得 (オルガノフードテック株)

「食添GMP」取得 (2005)

日本食品添加物協会
自主基準

+

「FSSC22000」取得 (2015)

食品安全マネジメント規格「ISO22000」
+
厳密な衛生管理基準・フードディフェンス
等の追加要求事項

- 同社の食品安全マネジメントシステムの有効性が証明
 - 既存顧客からの信頼向上
 - 新規顧客獲得

本日はご出席頂きまして
誠にありがとうございました。

(お問合せ先)

オルガノ株式会社

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8

経営企画部(担当 竹井)

TEL 03-5635-5111

FAX 03-3699-7240

URL <http://www.organo.co.jp>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2015年3月期決算説明会 補足資料



オルガノ株式会社

2015年5月15日

<目 次>

1.	2015年3月期決算報告及び2016年3月期計画		
	① 連結損益	-----	1
	② セグメント別（連結）	-----	2
	③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）	-----	2
2.	主な指標	-----	3

■■業績の予想について■■

本資料に記載される業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。



オルガノ株式会社

1. 2015年3月期決算報告及び2016年3月期計画

① 連結損益

(単位：百万円)

	2014年3月期		2015年3月期					2016年3月期 (計画)			
	通期		第2四半期累計期間		通期			第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	65,501	8.7%	35,704	10.4%	75,000	77,873	18.9%	37,500	5.0%	75,000	△ 3.7%
売上高	62,096	△ 6.9%	28,633	6.9%	70,000	68,741	10.7%	30,000	4.8%	77,000	12.0%
海外売上高 (海外売上高比率)	14,090	30.6%	4,316	△ 28.2%	14,200	12,390	△ 12.1%	6,800	57.5%	15,800	27.5%
	22.7%		15.1%		20.3%	18.0%		22.7%		20.5%	
売上総利益 (売上総利益率)	14,553	△ 13.6%	6,115	△ 5.1%	15,400	15,544	6.8%	6,600	7.9%	16,700	7.4%
	23.4%		21.4%		22.0%	22.6%		22.0%		21.7%	
販管費	13,720	2.8%	6,547	△ 4.8%	13,900	13,145	△ 4.2%	6,900	5.4%	14,000	6.5%
営業利益 (営業利益率)	833	△ 76.2%	△ 432	—%	1,500	2,398	187.9%	△ 300	—%	2,700	12.6%
	1.3%		—%		2.1%	3.5%		—%		3.5%	
経常利益 (経常利益率)	1,170	△ 70.1%	△ 444	—%	1,400	2,465	110.6%	△ 350	—%	2,600	5.5%
	1.9%		—%		2.0%	3.6%		—%		3.4%	
当期純利益 (当期純利益率)	664	△ 74.1%	△ 583	—%	900	1,085	63.5%	△ 230	—%	1,680	54.7%
	1.1%		—%		1.3%	1.6%		—%		2.2%	

② セグメント別（連結）

（単位：百万円）

	2014年3月期		2015年3月期					2016年3月期（計画）			
	通期		第2四半期累計期間		通期			第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	65,501	8.7%	35,704	10.4%	75,000	77,873	18.9%	37,500	5.0%	75,000	△ 3.7%
水処理エンジ	45,814	12.3%	25,823	13.1%	53,500	57,645	25.8%	27,700	7.3%	54,000	△ 6.3%
機能商品	19,686	1.2%	9,881	3.8%	21,500	20,227	2.7%	9,800	△ 0.8%	21,000	3.8%
売上高	62,096	△ 6.9%	28,633	6.9%	70,000	68,741	10.7%	30,000	4.8%	77,000	12.0%
水処理エンジ	42,112	△ 11.3%	19,248	10.2%	48,500	48,841	16.0%	20,200	4.9%	56,000	14.7%
機能商品	19,983	3.8%	9,385	0.6%	21,500	19,900	△ 0.4%	9,800	4.4%	21,000	5.5%
営業利益 （営業利益率）	833	△ 76.2%	△ 432	—%	1,500	2,398	187.9%	△ 300	—%	2,700	12.6%
	1.3%		—%		2.1%	3.5%		—%		3.5%	
水処理エンジ （利益率）	△ 691	—%	△ 1,029	—%	△ 200	1,063	—%	△ 940	—%	1,260	18.5%
	—%		—%		—%	2.2%		—%		2.3%	
機能商品 （利益率）	1,524	29.5%	597	4.6%	1,700	1,335	△ 12.4%	640	7.1%	1,440	7.8%
	7.6%		6.4%		7.9%	6.7%		6.5%		6.9%	

③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）

（単位：百万円）

	2014年3月期		2015年3月期					2016年3月期（計画）			
	通期		第2四半期累計期間		通期			第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	19,745	3.4%	11,264	24.1%	21,000	30,335	53.6%	11,100	△ 1.5%	27,400	△ 9.7%
国内	10,505	4.2%	9,046	115.1%	12,900	19,085	81.7%	6,400	△ 29.3%	15,400	△ 19.3%
海外	9,240	2.6%	2,218	△ 54.4%	8,100	11,250	21.8%	4,700	111.9%	12,000	6.7%
売上高	19,275	△ 2.3%	9,606	10.7%	19,800	22,145	14.9%	11,000	14.5%	28,300	27.8%
国内	9,242	△ 15.3%	6,833	69.2%	11,500	13,739	48.7%	5,800	△ 15.1%	15,800	15.0%
海外	10,033	13.8%	2,773	△ 40.2%	8,300	8,406	△ 16.2%	5,200	87.5%	12,500	48.7%

2. 主な指標

(単位：百万円)

	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期 (計画)	
	通期		通期		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
連	設備投資額	358 △ 50.3 %	334 △ 6.5 %		1,100	228.4 %
	技術研究費	1,490 △ 9.9 %	1,392 △ 6.6 %		1,450	4.2 %
	減価償却費	1,065 △ 8.1 %	999 △ 6.2 %		1,000	0.0 %
	有利子負債	10,230 △ 31.3 %	12,717 24.3 %		13,000	2.2 %
結	金融収支戻	△ 26 -	△ 33 -		△ 40	-
	従業員数 (人)	1,896 + 61 人	1,944 + 48 人		2,050	+ 106 人
	EPS : 1株当たり当期純利益 (円)	11.53	18.85		29.17	
	1株当たり配当金 (円/年)	8.0	8.0		8.0	
	ROE : 自己資本当期純利益率 (%)	1.5	2.4		3.6	
	ROA : 総資産経常利益率 (%)	1.4	3.1		-	